

# 英語力つけて世界のリーダーに

なぜ英語を勉強しないといけないの。海外の中高生は何を学んでいるんだろう。こうした疑問を持つ人もいるでしょう。研究者と高校生、それぞれの立場で米國を引っ張るリーダーを育てる「エリート教育」に触れた2人に聞きました。

(松村大行)



さいとう・じゅん 1969年、山形県生まれ。英語塾「J PR EP 斉藤塾」代表。元イェール大学助教授で、元衆議院議員。著書に『10歳から身につく聞い、考え、表現する力』(NHK出版)など。

## 一步先んじて競争に勝つため

### なぜ必要なのか

米國でも指折りの名門、イェール大学で博士号をとり、政治学科の助教授を務め、現在、中高生向けの英語塾を経営する斉藤塾さんに聞きました。

Q なぜ英語を身につける必要があるの？

A たしかにほとんどの仕事は英語を使わないですみます。しかし、世の中で一步先んじて競争に勝つためには大きなアドバンテージになります。例えば旅館で働く人や、国家公務員になると、どの省庁でも英語が欠かお寺のお坊さん。ほとんどの人は英語を話さないからこそ、英語で紹介できれば、外国の人の目にとまり、多くの観光客が集まります。

英語が不可欠というより、英語を学ぶのを避けていると損をすると言ったほうが適切かも知れません。

## 自分の声を録音して聞こう

### 身につけるには

Q 米國の大学に入學できるような英語力を身につけるには？

A まずは良い発音を身につけることです。英語は音の種類が多いのが特徴。日本語は子音と母音の組み合わせが100種類ほどですが、英語には500種類くらいあります。それなのに英語をカタカナに変換して覚えるのは効率が悪いです。単語をうまく吸収できず、リスニングの力もつきません。

音の組み合わせが100種類ほどですが、英語には500種類くらいあります。それなのに英語をカタカナに変換して覚えるのは効率が悪いです。単語をうまく吸収できず、リスニングの力もつきません。

日本の中高生もA17の先生に話しかける。英語の絵本を読み、歌詞の意味を考えながら授業を聞くなど、学んだ英語を積極的に使ってみてほしい。

例えば、自分の声を録音して聞き直すのがおススメです。習得した単語で数分間、先生と会話します。

## 考えを示す作文力が重要に

### 通用するには

Q 世界に通用するために必要な勉強とは、

A エリートを育てる米國の教育機関は、ひたすら古典を読ませます。例えば日本の國語にあたる授業では、ホップスが書いたリヴァイアサンをもとに議論をします。17世紀半ばに書かれ、国家について考える上で、大切な古典で、

その人独自の考えを持つて授業に臨み、他の学生の学びにも貢献する姿勢が評価されます。日本の大学では、提出するレポートを「コピペ」で済ます人がいると問題になっています。コピペはアイデアを盗むだけでなく、学問に新たな価値を提供しません。

日本ではこの「価値」に関する教育が不十分だと感じます。価値があると思われるには、すでに定着した知識を理解し、その先の新たなアイデアを正確に評価する力量が必要で、

そのために、私は「作文力」が重要だと考えます。テーマに対してアイエスかノーかを表明し、続いて自分の考えを示す。その作文を自分で読み返すだけでも、十分能力がつけます。

① 発音記号を勉強する  
カタカナでは覚えられない！  
cat キヤット cut カット  
(キョ) (キョ)

発音記号と口のかたちを対応させて覚える

例えば… [cat] [cut]

アとエの中間音 (舌をくぼませるよう)

② 英語を読む声を録音し、聞き直す

声を頭蓋骨の振動ではなく鼓膜で聞くのがポイント

③ 指&手鏡で舌のかたちを覚える

指で舌のかたちを整える 鏡で舌のかたちをチェック

口に入れる前に消毒

[bat] (コウモリ) æ

※斉藤塾さんの本『世界の非ネイティブエリートがやっている英語勉強法』(KADOKAWA/中経出版)をもとに作製 イラスト・やないゆうじ